

ふるさと探訪

第65回 市之川 鉷山跡



県下有数の桜の名所である武丈公園から、車で10分ほどの山あいには市之川公民館があります。そこからさらに徒歩で少し行くと、アンチモン鉷石である輝安鉷の産出鉷山として、かつては世界に知られ

た市之川鉷山の、坑口の石積みみが静かに苔むしています。

明治時代中期には、アンチモン国内年産量の半分近くを産出し、4千人もの人々が働いていた市之川鉷山も、昭和32年に事業を中止して、その後閉山に至りました。

取材は残暑の厳しい日でしたが、石積みの隙間からは冷気が流れ出していて、まるで天然のクーラーのようでした。

市立西条郷土博物館には、世界的に重要な鉷物標本としてコペンハーゲンの国際博物館会議に登録された、長さが45・5 cm、重さは13・1 kgもある市之川鉷山産の輝安鉷が



固く閉ざされた「千荷坑口」は、閉山後に流れた時間の中で静かに自然に返ろうとしていました。



展示されており、往年の山の繁栄がしのべれます。



黒く輝く西条郷土博物館所蔵の輝安鉷



石積みには「明治廿三年一月」との刻銘が